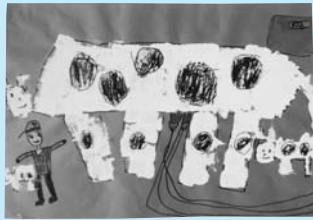


## 只見 FCT 児童画展 見保育所の 2 名が特別賞受賞

福島中央テレビが主催し行われた第32回 FCT 児童画展において、只見保育所の「羽染治輝くん」が描いた「うしさんのミルク」が福島民友新聞社賞に、同保育所の「酒井伶斗くん」が描いた「うしをみにいったよ」が福島県教育会館理事長賞に選ばれました。この児童画展への応募作品数は10,367点で、様々な特別賞75点の中の2点に選ばれたものです。この作品は世界児童画展にも出品されます。



▲ 福島民友新聞社賞の羽染治輝くん



▲ 「うしさんのミルク」



▲ 福島県教育会館理事長賞の酒井伶斗くん



▲ 「うしをみにいったよ」



# サンタさんもきたよ! クリスマス会



カルガモクラブ (12月9日)



あさひこども教室 (12月15日)



ただみこども教室 (12月19日)



めいわこども教室 (12月20日)



## 只見スキー場オープン式 シーズン中の安全と温かなサービス誓う

只見スキー場のオープン式が12月22日に只見スキー場のロッジで行われ、関係者18名が出席しました。(株)会津ただみ振興公社代表取締役社長の目黒町長が「皆さんに喜ばれるようスタッフ一丸となり頑張ります」とあいさつし、菅家俊一町商工会長が祝辞を述べました。その後、安全を祈願し目黒長一郎町体育協会長の音頭で献杯が行われ、目黒町長ら関係者のテープカットで、オープンしました。



▲ 安全な運営を願いテープカットする目黒町長（左から3人目）

## 地域づくり総合支援事業 こころの復興民話祭



▲ 小林早乙女踊りを披露する保存会の皆さん

NPO語りと方言の会が主催し、西部プラザ駐車場（郡山市）で11月26～27日に行われた「こころの復興民話祭」に、只見町から「小林神楽と早乙女踊り（堀金俊彦保存会長）」も出演しました。この催しは、人と人の絆やコミュニティの復活、地域のこころの文化遺産の復活を目指し、震災などからの復興を願い開かれ、東北六県と新潟の語り部による昔話や福島県内の民俗芸能が披露されました。

## 第14回ブナセンター講座 自然を描く心と技

第14回ブナセンター講座が、12月11日に、ただみ・ブナと川のミュージアムで開かれ、29名が参加しました。講師の平田美紗子さんは、国有林を管理する森林官でイラストレーターとしても活躍。平田さんは、自然の魅力を伝えながら、学術的にも正確なイラストを描くことの難しさを、失敗談を交え楽しく講話しました。平田さんのイラストは3月25日まで、同ミュージアムで展示されています。



▲ イラストの説明をする平田美紗子さん

## 只見中学校道徳教育特別授業 民の方の知恵を習得しよう！



▲ 南山御蔵入騒動について詳しく伝える飯塚恒夫さん

只見中学校では、町内在住の方を講師に招き、経験談を聞いたり、知識を学ぶ「道徳教育特別授業」を行なっています。この授業は各学年ごとにテーマを決め行われる授業で、1年生は郷土愛について、2年生は勤労の尊さや意義について、3年生は郷土の歴史について学びました。12月1日に行われた3年生の授業では、飯塚恒夫さん（坂田）の南山御蔵入騒動の話にみんな興味深く耳を傾けていました。